

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-1	理念の浸透が不十分である	理念をもう一度見直し、職員全員で現在のホーム運営について適切な理念であるか検討し、必要であれば理念の改定を行う。	全体会議にて理念についての議題を出し理念内容について理念に基づいて仕事が出来ているか問いかける。また、現在の理念内容では適切ではない場合には部分的に改定するか、全てを改定していく。	3ヶ月
2	I-2	地域住民との日常的な交流の機会を確保する事や、地域の活動や役割を担う機会は少ない	ホーム内や、法人の空きスペースにてちょっとした健康教室や運営推進会議にて一般の方も参加できるようなことを企画する。	運営推進会議参加者に事前に候補を挙げて興味ある項目をインタビューする。興味ある項目についてのイベントをやっていく。区長様へ地域のイベントがあれば案内を頂けるようお願いをする。	6ヶ月
3	I-6	安全のために身体拘束が必要な入居者様がいらっしゃる	身体的拘束を0にする事は安全上難しい為、不必要な身体拘束をする事が無いように職員の身体的拘束・虐待の知識を高める。	平成30年度より介護保険改定があり、新たに身体的拘束等の適正化を図る為に指針の作成を行った。これを全職員に周知するとともに、年に2回身体拘束・虐待の勉強会を行う。また、身体拘束廃止勉強会に参加していく。	今すぐ
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。